

学校関係者評価委員会報告書

学校法人瓶井学園日本メディカル福祉専門学校は、令和2年度学校自己点検・自己評価結果に基づいて、令和3年7月17日に学校関係者評価委員会を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

令和3年 7月17日
学校法人瓶井学園
日本メディカル福祉専門学校
学校長 瓶井 修

1. 学校関係者評価委員

| 氏名 | 所属 |
|-------|--|
| 岡本 高博 | 社会福祉法人 向日葵福祉会 茨田大宮こども園 事務長 本校卒業生 |
| 北野 暢隆 | 社会福祉法人若葉会保育園こどものくに 園長 |
| 蔵敷 重壽 | 元大阪市立都島工業高等学校 校長、 元大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長 |
| 山崎 康祥 | 大阪府臨床工学技士会 理事 |

2. 学校側出席者

| | |
|--------|--------------------|
| 瓶井 修 | 日本メディカル福祉専門学校 学校長 |
| 堀川 茂野 | 日本メディカル福祉専門学校 副校長 |
| 中道 和則 | 日本メディカル福祉専門学校 教務課長 |
| 小保方 敬子 | 日本メディカル福祉専門学校 教務主任 |

3. 議事報告

| 項目 | 評価・意見 |
|------------|---|
| (1)教育理念・目標 | 「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 |
| (2)学校運営 | 「教育活動等に関する情報公開が適切になされているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 適宜見直す必要があるため、今後も学校関係者評価委員会において、公開項目の検討を重ねるとの方針が決定した。 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 |

| | |
|---------------|---|
| (3)教育活動 | <p>「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」、「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか」、「関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。指定養成校である為カリキュラム変更については臨床工学科、こども福祉学科ともに厚生労働省の指定カリキュラムのため、補佐的な講義実習となる。</p> <p>臨床工学科では情報処理（機器管理データベース）関連の特別講義や患者さん対応について学ぶOSCE実習を実際に病院にて行った。</p> <p>こども福祉学科では新カリキュラムに移行したため、それにのっとり教育をおこなっていく。課題があれば対応していく。令和3年度は大阪府の待機児童解消施策として行われている職業訓練「長期高度人材育成コース（保育士養成コース）」の9名を受け入れる。</p> <p>十分なレベルの教職員を確保できているが、外部研修を受講する機会を増やし、より一層のスキルアップを目指すとの方針が決定した。</p> |
| (4)学修成果 | <p>「資格取得率の向上が図られているか」について、自己点検・自己評価結果については臨床工学科については低くつけているが、新型コロナウイルスの影響でオンライン授業を実施している中では、学生が孤立化して個人対応が難しくなっている。みんなで教えあうような事ができれば変わっていくのではないかと。との意見があった。</p> <p>こども福祉学科では学修支援が必要な学生に個別相談で応じていき、本科生において就職率100%（正職員）となった。</p> <p>「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」、「卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> |
| (5)学生支援 | <p>「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」、「学生への生活環境への支援は行われているか」、「保護者と適切に連携しているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。保護者とは面談すること自体が難しくなっている電話連絡などで連携の場を作っていくとの方針が決定した。</p> |
| (6)教育環境 | <p>「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」、「防災に対する体制は整備されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> |
| (7)学生の受入れ募集 | <p>月に一回ペースのオープンキャンパスイベントの実施、SNSの発信ガイダンスへの参加、高校訪問などを行っている。</p> |
| (8)財務 | <p>特に問題なし。</p> |
| (9)法令等の遵守 | <p>「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」、「自己評価結果を公開しているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> |
| (10)社会貢献・地域貢献 | <p>特に問題なし。</p> |
| (11)国際交流 | <p>「学習成果が国内外で評価される取組を行っているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。学習成果が国内外に伝わるよう、ホームページを充実させ、情報発信を強化するとの方針が決定した。</p> |

